

第 6 5 回原子爆弾後障害研究会プログラム

令和 7 年 10 月 26 日（日）（広島国際会議場）

	第 1 会 場	第 2 会 場
9 : 30	開 会 の 辞	パネル展示 グビロが丘の祈り、 フェニックスの誓い ー被爆の医学を追い求めた ヒロシマとナガサキの 8 0 年ー
9 : 35		
	一 般 演 題 1 ～ 9	
11 : 05	昼 食	
12 : 30		
	シンポジウム 「被爆 8 0 年ー被爆者医療の 総括と展望」	
14 : 50	休 憩	
15 : 05		
	特別講演（市民公開講座） 「広島原子爆弾によってつくり 出された非人道的傷痕」	
16 : 05	閉 会 の 辞	
		懇 親 会

16 : 15

パネル展示

広島大学原爆放射線医科学研究所 長崎大学原爆後障害医療研究所 共同特別企画

特別講演（市民公開講座）

日本放射線影響学会第 68 回大会/第 6 回アジア放射線研究会議 共同開催

第 6 5 回原子爆弾後障害研究会

9:30

開会の辞

9:35～11:05

一般演題 9題

12:30～14:50

シンポジウム「被爆80年—被爆者医療の総括と展望」

座 長：広島大学原爆放射線医科学研究所 所長

東 幸 仁

長崎大学原爆後障害医療研究所 所長

中島 正洋

シンポジスト

① 原爆放射線の健康影響：長期健診調査の歩み

放射線影響研究所 臨床研究部 部長

大石 和佳

② 原研の原爆後障害研究の現在と今後

長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学分野 教授

中島 正洋

③ ヒロシマ医師の被爆 80 年

広島県医師会被爆伝承コーナー展示『ヒロシマ医師の被爆 80 年』より

広島大学原爆放射線医科学研究所

附属被ばく資料調査解析部 特命准教授

久保田明子

④ 被爆 80 年を迎えた広島原対協の役割

公益財団法人広島原爆障害対策協議会

健康管理・増進センター 所長

上野 義隆

⑤ 広島県の被爆者援護行政と HICARE の取組

広島県健康福祉局 局長

北原加奈子

⑥ 被爆と被曝の現在——「ノーモア・ヒバクシャ」の記憶を編み直す

京都大学人文科学研究所 教授

直野 章子

15:05～16:05

市民公開講座（共同開催 日本放射線影響学会第 68 回大会/第 6 回アジア放射線研究会議）

特別講演「広島原子爆弾によってつくり出された非人道的傷痕」

座 長：公益財団法人広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長

上野 義隆

演 者：広島大学名誉教授

鎌田 七男

16:05

閉会の辞